

「大学生の消費行動と変身行動による欲求について」

佐藤雄人 (22011154ys@tama.ac.jp)

1. はじめに

今の大学生はお金がないイメージがある。その理由として全国大学生協連より行われた「第58回大学生生活実態調査（2023年3月1日）」より実家暮らしの人、下宿生共に「教養娯楽費」「交通費」「食費」の支出が増え、「貯金・繰越金」が減少している。と述べていた。そのため、今の大学生はその少ないお金をなにに消費しているのか気になった。また、自分の満足のいく生活に変身させるためにはどのようなものを必要にして、いくらくらいお金を必要としているのかも気になった。また、自分を変身させる時にどのような欲求があるのか分析することができると思った。

その理由として2008年に出された「変身行動の消費心理_大学生における変身行動の消費心理」で大学生になるとしっかりとした大人になろうと自分に足りない部分を補おうとして、あるいは自分をいつそランクアップさせようとして、つまり自分をさまざまに変身させるため、「物」や「コト」にお金を使って生活をしている。と述べている。この論文は2008年のもので現代の大学生と消費心理が大きく変わってくると思った。そこで現代の大学生は自分を変身させるためにどのようなものにお金を消費しているのか調べたくなった。お金のない大学生にとって自分自身の不満や不足を解消して満足する自分に変身させるためにどのようなことにお金を使っている、それをすべて実現するためにはいくらほどお金が必要になってくるのか、その変身行動でどのような欲求があるのか読み取れると思ったため

2. 研究の目的

本研究の目的は現代の大学生の収入は何に使用して、いくらくらいお金を消費しているのかという消費行動。大学生が変身行動をする際にどのようなものを必要として、いくらほどお金を消費しようとするのか。そこから大学生の消費行動における欲求を自分の中で分析することである。

3. 仮説と予測

大学生の収入は約8万円程度だと思う。その約8万円の中で携帯代、美容、洋服、友人のごはん代・遊び、趣味、娯楽、今の時代では車を持つ大学生も増えていて、脱毛など高いお

金がかかるものもある。1人暮らしの人は家賃、日用品、食費、たくさんのお金がかかってくる。たくさんのお金がかかる要因としては昔と比べ物価が上がったというのと便利なものが増えたということが多いと思う。少しでも自分の生活を有意義にしたいという欲と脱毛や美容、洋服に多くお金をかけたりする人はモテたいという欲求や自分のコンプレックスなどの嫌いなところをカバーしたいという欲があると思う。

4. 研究方法

研究の方法は全大学生を対象とする。アンケート調査で大学生の消費行動と変身行動に関する調査をする。そのアンケート調査から現大学生の消費行動と変身行動と消費欲求を分析する。

(現在アンケート実施中)

- ・1ヶ月の平均収入
- ・1ヶ月の平均消費金額の内訳
- ・人間誰でも自分自身について、満足できる面と満足できない面どちらも持っている。そこであなたが、身体的、精神的、社会的な「今のあなた自身（顔立ち、体つき、健康状態から性格、人間関係、社会的地位に至るまで）について不満や不足を解消して満足のいく自分に変身するためにどのようなことにお金を使う（あるいは使った）ことがあるか。
- ・上記の質問で月に最低どのくらいのお金があれば自分の満足のいく生活が送れるのか。

参考文献

神山進 変身行動の消費心理_大学生における変身行動の消費心理_2008年